

音楽の世界で今何が起きている??

阿部 竜之介 『Pepeの視点』

May / 10 / 2013 # 2

---

みなさん、はじめまして。

Trombone & Euphonium奏者の阿部竜之介(Pepe)です。

このメールマガジンでは、僕から見た今の音楽の世界で起きていること、また演奏に関するヒントなどをお届けしていきます。

またメルマガ内でもいろいろな質問に答えていこうと思っていますので、どんどん質問してきてくださいね！

---

## INDEX

[1] 旬な話題、気になる話題

『New Generations! 新世代！』

[2] Pepeのひとりごと

『現在（いま）の音域』

[3] おすすめ動画

『Lucienne Renaudin Vary, Carnaval de Venise

avec Eric Aubier』

『D.Cimarosa- Concerto for oboe and strings (TROMBON)』

[4] 演奏のヒント！

『視線はどこに??』

[5] 編集後記

---

[1] 旬な話題、気になる話題

『New Generations! 新世代！』

今回は、今はもちろん、これからの活躍にとっても期待している若手プレイヤーに注目してみようと思います。

芸人でもそうですが、若手という言葉はすごくあいまいな範囲を捉える場合がありますよね（笑）。

今回ここで使う「若手」とは、実際に年齢の若い人たちを指すことにします。主に20歳代のプレイヤーですね。

TromboneとEuphoniumそれぞれでみていきましょう。

まずはTrombone。

僕が少し前から注目しているスペインの若手（21歳！）、Ricardo Molla Alberoくんです。

実は直接会ったことはなく、メールでちょこっとやり取りをしたことがあるだけなのですが、彼の演奏はYouTubeを通していろいろと聴かせてもらっています。

彼の演奏の善し悪し（好き嫌い）はさておき、持っているものはすごいものだと感じています。

特にスタミナはかなりあるようですよ。僕もいろいろな面でいい刺激を受けてます！！（笑）

まだまだこれからドンドンと成長していくのですが、これからが楽しみなプレイヤーの一人です。

まだ日本では知っている人があまりいないと思うので、最初に挙げてみました（笑）。

日本的にわかりやすくいうと（笑）、国内外のコンクールで10回も第1位を取っているということです。

個人的にはこういうプロフィールはあまり当てにしないほうがいいと思っているので、参考までに（笑）。

実際に演奏を聴いて（もちろん生じゃなくてもいいと思います）、各々で判断してみてくださいね。

こういう便利な時代です。今の日本の若いプレイヤーたちも、YouTubeなどを通してどんどんといろんな人から刺激を受けてもらいたいですね。

P.S.

Ricardoは、自分の演奏をよくYouTubeに載せています（一人で演奏していても）。

こういう前向きな活動をぜひ日本のプレイヤーさんにもやってもらいたいなあ、と思っています。

いろんな人に聴いてもらい、いろんなコメントをもらって勉強していくほうがいいと思うし、今の時代ならではの勉強の近道だと僕は考えています。

最後に、Ricardoの演奏動画のリンクを張っておきます。

聴いてみてください。

[http://www.youtube.com/watch?v=K9\\_-8j\\_kaal](http://www.youtube.com/watch?v=K9_-8j_kaal)

続いてEuphonium。

つい先日も去年に引き続き来日していましたが、ベルギーの若手、Glenn van Looyくんを紹介します。

彼も数々のコンクールで第1位を取り、今世界中で演奏活動をしています（Besson Artistです）。

Tromboneで紹介したRicardoよりも音楽性が素晴らしく、音色、テクニックなども申し分ありません。

ぜひたくさんの人に生で聴いてもらいたいですね。

彼こそ新しい世代（New Generation）の代表格だと思います。

Glennとは仲良くして用事があれば連絡をとりあうのですが、人としてもとてもしっかりしていて、いいやつです（笑）。

とても若いのに、よく勉強しているし今の自分の環境に天狗になることもなく誰とでも気さくに接することができる人です。

Glennは難しい曲を簡単に吹きこなすだけでなく、難しい曲の演奏の中でもしっかり自分が何を伝えたいのか、何をやりたいのかを伝えることができるプレイヤーです。

これはとても大切なことだと僕は常に思っています。

難しい曲を吹くだけなら、それなりの人に習いそれなりの練習をすればきっとできるようになると思います。

音楽性については、その人の人間性がとても出てくるし、関係性もあると思います。

日本の若いプレイヤーにはこの「個性」というか、「自分が伝えたいこと」を演奏を通して伝えるエネルギーが弱いと感じています。

決してないわけではないんです。

ただ、伝え方を知らないというか、どこまでやらないと伝わらないかわかっていないというか・・・。

これは日本人特有の感覚がある種のジャマをしていると僕は考えています。

日本人には特有の「以心伝心」などの感覚があるため、それで伝わるだろう、と感じてしまうのだと思います。

その辺りで、ある意味「新しい感覚」を持つことによってできるようになるのだと僕は考えています。

何はともあれ、機会があればぜひGlennの演奏を聴いてくださいね。

<http://www.youtube.com/watch?v=9gdu5hW5YMU>

\*この動画の曲「UFO Concerto」、いいと思いませんか？  
近いうちにやろうと思ってます！（笑）

## [2] Pepeのひとりごと

### 『現在（いま）の音域』

金管楽器の音域は、奏者の技術が上がっていくにつれて拡大して  
います。

低音域は楽器の機能の上で限界がありますが、高音に関しては  
演奏者次第となります。

これまでの数々の名手たちのおかげで、今の金管楽器に要求  
される音域というのはものすごく広がってきました。

特に、金管楽器の中でもとりわけ歴史の浅いEuphoniumのその  
音域の拡大の仕方はすごいと思います。

一昔前にはプロしか演奏できないような難しい曲が、学生用  
のコンクールの課題曲になっていたりしますからねえ。

この状況をラッキーなことと捉えるか、それともアンラッキーな  
ことと捉えるのかで大きく変わってくるでしょうね。

ちなみに僕はラッキーと捉えています。

どうしてかって？

その楽器を吹いているのおかげで、この楽器の歴史の中でも  
きつと重要になってくるであろう音域の拡大の大波に乗って  
自分の成長していくことができるんですから！

一昔前は、トランペットのエチュード（教本）をそのまま演奏  
していただけでEuphoniumの演奏に必要なことがほぼ  
全て補われていたが、今この時代においては、それだけでは  
Euphoniumのレパートリーを演奏していくのはムリです。

高い音も低い音も、ただ出るだけでは十分ではなく（ま、  
これはすべての楽器において共通して言えること  
でしょうが。笑）、十分にコントロールできないといけません。

低音域に関しては、トランペットの教本で出てくるものを  
1オクターヴ下げて練習することがEuphoniumでは  
できますし、やったほうがいいとも  
思います（Allen Vizuttiさんの教本  
だけは別ですよ！他の、昔からある  
一般的なトランペットの教本のことを  
ここでは指しています）。

音階練習も、基本的に2オクターヴを1  
セットとして練習できるようになる  
といいと思います（トランペットは  
1オクターヴが1セットな場合が

多いと思います)。

音域とは、奏者の中の感覚で変わってくるものだとも思います。  
日頃の練習の時から音域を広く取るようにして、自分の中にある「頭の中の音域」をまずは広げていっていきましょう！

音域（特に低音域）を広げるため、ファゴットやチェロの教本や曲を練習してみるのもいいと思いますよ。

### [3] おすすめ動画

『Lucienne Renaudin Vary, Carnaval de Venise avec Eric Aubier』  
[http://www.youtube.com/watch?v=1c7k6BR\\_ICQ&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=82](http://www.youtube.com/watch?v=1c7k6BR_ICQ&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=82)

今回は『New Generations! 新世代!』ということで、新世代の中の新世代の演奏動画を紹介します！

まずはフランスの天才トランペティスト、Lucienne Renaudinちゃんの動画です。

この動画では、フランスのトランペットの名手、Eric Aubierさんとヴェニスの謝肉祭の変奏曲を演奏しています。

今年で14歳になる、日本でいうと中学2年生になる子ですが、なんとも簡単に演奏しています！（彼女は12歳の時にコンクールでH.TomasiのConcertoを演奏しています！！動画あり）

上手な人の演奏は、どんな難曲でも簡単に聴こえますよね。  
これからもいい先生と巡りあって、その才能をますます開花させていってほしいです！

『D.Cimarosa- Concerto for oboe and strings (TROMBON)』  
[http://www.youtube.com/watch?v=AB\\_kIP1Ynhk&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=4](http://www.youtube.com/watch?v=AB_kIP1Ynhk&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=4)

2つ目の動画は、ウクライナの11歳のトロンボニスト、Polina Tarasenko Khersonちゃんです。

なんと、去年僕がCDに収録したD.Cimarosaのオーボエ協奏曲をTenor Tromboneで吹いています！！（僕はAlto Tromboneで演奏しています）

Tenor Tromboneでももちろん演奏はできますが、それなりに大変です（汗）。

僕は元々Alto Tromboneにとっていいレパートリーになる曲を探し

ていて、この曲を紹介してもらってたどり着いたのですが、まさかこの曲をトロンボーンで演る人が他にもいたとは・・・。  
世界は広いぞ～！（笑）

驚くべきことは、1つ目の動画のLucienneちゃんと同じように、  
いとも簡単に音を出していることです。  
特にこの曲は音が高いのですが、それらを難しさを感じさせることなく吹いています。

日本でいうとまだ小学生。  
ちなみに彼女はB.AppermontのColorsも演奏しています（笑）。  
新世代の今後の活躍と成長が楽しみです！！

#### [4] 演奏のヒント！

『視線はどこに??』

みなさん、日頃楽器の練習をしているとき（音を出しているとき）、  
自分の視線がどこにあるのかは知っていますか？  
（楽譜などは見ないで、ロングトーンなどの練習をしているとき  
です）

知っている人は、少なくとも練習中に視線に気をつけているのだと思います。

「え??そんなの考えたことないよ・・・。  
きっとまっすぐ前を見てるんだと思う」

と思った人は、ぜひ次回の練習の時に意識してみてください。  
視線は自分の前3～5m辺りのところを意識して、高さは目の高さよりほんの少し高いくらいのところですよ。

その視線を、音を出す瞬間だけでなく音を出している間ずっと、  
音が完全に消えるまで維持してみましよう。  
まずは「簡単だ」と思うと思いますが、「常にそれをする」という  
ことになると、そう簡単ではないんですよ。

これを意識してすることによって、音を出している間の息の流れを  
維持させることができるようになり、また音のリリース（最後の処理）  
が自然になってくると思います。

まずは基礎練習やウォームアップの時に気をつけるようにして、それ  
から徐々に曲の演奏中でも意識してやってみるようになさってください。  
そうすると、目で楽譜は追っていても、音（息）を前に向けて届ける

ことができるようになってきます。

視線の先に、自分が注意しないといけないことなどを書いた紙を置いて  
(張って) おくといいと思います。

楽器を演奏する上で気をつけることは、姿勢や音色など、本当にたくさん  
さんのことを同時に考えないといけませんからねえ。

これで音は変わってきますよ！！

あと、正しい吹き方をしていると難しいことは減っていくと思います  
(少なくとも増えません！笑)。

- ・自分の音が気に入らない (イメージしたような音が出ない)
- ・音のリリース (最後の処理) が不自然になってしまう
- ・しっかり吹いているのにコンサートなどであまり聞こえないとよく  
言われる

上に書きたいいくつかのポイントに当てはまるものがある人は、ぜひ  
ともやってみてくださいね！

難しいことはありません。簡単なことをしてよくなるのであれば、  
やってみるべきですよ！！ (笑)

視線の向き先は、音 (息の流れ) を変えます。

ぜひこれを心のなかにいつも入れて練習してってください。

---

## 編集後記

みなさん、ゴールデン・ウィークはいかがでしたか？

覚悟はしていましたが、思っていたよりもゴールデン・ウィーク中に  
仕事が進められなくて、今週はものすごく大変な過ごし方をしてい  
ます (涙)。

バンド・ジャーナル誌の原稿締め切りも同じ時期になり、今週の僕の  
頭の中は本当にいっぱいでした・・・。

さあ、これから明後日5月12日 (日) の午後にある講習会の資料作り  
に取り掛かります！！

通常のレッスンではよっぽどのがない限り資料などは作らないで  
その場で調達できるものを使って進めていくのですが、今回の講習会は  
年齢や日頃の活動などがバラバラの人たちが集まってくれるので、  
すべての人にわかりやすく、また講習会後も役に立てられるようにと  
思い資料を作ることにしました。

講習会でする内容も、今回は簡単な時間割のようなものを自分用に

作り、いつものように臨機応変に内容を変えたりしないで（笑）、その時間割にそって進めていこうと思っています。

日によっては暑いくらいに気温が上がったり、かと思えば朝晩に急に冷えたりして体調管理が難しいですね。

ただでさえいろんなバランスが崩れやすい時期です。

自分に優しく、休養をしっかりととりながら過ごしていきましょうね！

-----

阿部 竜之介(Pepe) オフィシャルウェブサイト

<http://www.pepeabe.com>

ご意見、感想、質問などはメールでどうぞ！

[info@pepeabe.com](mailto:info@pepeabe.com)